

事務事業評価シート

事務事業名	広域観光事業	
担当部局名	担当室名	室長名
産業部	観光交流室	松本 孝寿

(H.29)No. 1475 (H.28)No. 6085

会計区分	事業コード	363502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	広域観光事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3 活力に満ちて暮らせるまち
基本施策	1 地域産業の振興	
施策	3 観光交流	

重点プロジェクト

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・東大和西三重観光連盟負担金(観光キャンペーン6市村、東大和西三重観光ガイド印刷など) ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金(伊賀流忍者観光推進協議会ホームページ、ロゴの管理及びPRの実施など) ・日本忍者協議会負担金(ホームページ等による情報発信) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東大和西三重観光連盟負担金 ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金 ・日本忍者協議会負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ・東大和西三重観光連盟負担金 ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金 ・日本忍者協議会負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ・東大和西三重観光連盟負担金 ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金 ・日本忍者協議会負担金 	

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		750千円		750千円	750千円	750千円	750千円
内訳	国・県支出金						
(千円)	地方債						
その他()							
一般財源	0	750	0	750	750	750	750
人工数	職員	0.85人		0.65人	0.65人	0.65人	0.85人
	臨時職員等	0.50人		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
②概算人件費	0千円	7,225千円	0千円	5,385千円	5,385千円	5,385千円	6,885千円
①+②総事業費	0千円	7,975千円	0千円	6,135千円	6,135千円	6,135千円	7,635千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)

東大和西三重エリア及び伊賀地域にある自然、歴史、忍者といった固有の観光資源を活用し、効果的な誘客を図ることができた。特に来訪者の多い関西エリアを中心に、観光キャンペーンを実施し、広域的な観光PRを展開できた。東大和西三重観光連盟においては、三重県と奈良県にまたがる広域観光ネットワークを活用し、各市村の観光キャンペーン等に相互出展し、集客の促進を図った。また、伊賀流忍者観光推進協議会及び日本忍者協議会においては、国内外に強い集客力をを持つ、「忍者」をツールとして、国内外に情報発信することができた。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】

継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)

継続(現行)

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

近隣観光関連団体との連携による、広域観光商品を造成し、国内外からの誘客を強化する必要がある。特に、平成27年度に実施した観光資源開発事業(地方創生先行型交付金事業)の成果や、世界的な知名度を有するコンテンツである「忍者」を活用し、外国人旅行者の誘客に努める必要がある。

6. 事務事業の取組に関する市の計画

名張市観光戦略
名張市エコツーリズム全体構想